

## 創刊の辞

オペラ／音楽劇研究所 所長：荻野 静男

このたび早稲田大学総合研究機構オペラ／音楽劇研究所の紀要『早稲田オペラ／音楽劇研究』がようやく創刊の運びとなった。独自の雑誌を定期的に発行しない研究所を、研究所と呼ぶことは出来ないと考え、数年前より創刊に向け準備に取り組んできた。

欧州においては *The Opera Quarterly* や *Cambridge Opera Journal* 等オペラ専門の学術雑誌がすでに長期にわたり発行されている。オペラ／音楽劇研究所の所長に就任した2016年度当時を振り返ると、本邦には遺憾ながらまだオペラ研究に特化した学術雑誌は存在しない状況であった。本誌が多少なりとも日本におけるオペラ研究に寄与できるならば、望外の幸せである。

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館にその名を残す坪内逍遙の戯曲『墮天女』は、山田耕筰の付曲により音楽劇《墮ちたる天女》となり、1929（昭和4）年12月に東京歌舞伎座で初演された。本誌が「早稲田」と冠する理由はそこにもある。

総合芸術であるオペラ／音楽劇の研究は、学際的方法によるアプローチをもって行うしかない。当研究所には本学以外からも音楽学・文学・演劇学等の多様な分野の研究者が集っているので、こうした研究に最適の環境を創出することが可能である。本誌創刊のためにご尽力くださった関係者の方々に厚く御礼申し上げる次第である。